

事務事業名	ふれあい交流館維持管理事業		<input type="checkbox"/> 施設上の主要事業	法令根拠					
政策名	総合計画体系 0:6 1:4 3:3:1:4	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課	福祉 係(グループ)			
施策名		地域で支え合う福祉社会の実現	課長名	江口久子	担当者名	西田昌樹 (内558)			
基本事業名		地域福祉施設の整備	予算科目	会計 1	款 3	項 1	目 9	事業	ふれあい交流館維持管理費
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり		<input type="checkbox"/> 男女共同参画	<input type="checkbox"/> 食のまちづくり		環境	次世代		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 12 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)			

事業概要 ふれあい交流館を維持することにかかる事業。	全体計画 (単位:千円)	
	投入量	特定財源
		一般財源
		その他
		事業費計 (A)
		正規職員従事人数
人件費計 (B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 ふれあい交流館を維持するために必要な修繕や補修を行なう。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 維持管理にかかった費用 千円 イ ウ
17年度計画 平成16年度と同様。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 在宅の65歳以上高齢者 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 何らかの支援を必要とする高齢者や、社会活動をする高齢者。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 利用者 / 在宅の65歳以上高齢者 % イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 高齢者の在宅生活の支援と社会参加の推進を図る	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 交友範囲が広がったと答えた利用者 / 全利用者 % イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 身体能力の向上や生きがいを見出し、元気で活発な高齢者が増える	

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	事業費	千円							
	特定財源	千円	4,749	3,664	3,587	4,390			
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計 (A)	千円	4,749	3,664	3,587	4,390	0	0	0
	人件費	人	1	1	1	1			
正規職員従事人数	年間			0.1114					
人件費計 (B)	千円	0	0	1,029	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,749	3,664	4,616	4,390	0	0	0	
活動指標	ア 千円	4749	3664	4616	4390				
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 人								
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %								
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %								
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 介護保険制度導入に伴い、元気高齢者を増やすことを目的に開設した。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 延べ利用者は増加している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 1階と2階で目的が違うことや、使用料の有料化に伴い利用者が混乱している部分もある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ 元気で活発な高齢者が増えることにより、積極的に高齢者の社会進出が促進される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引ける [理由] <input type="checkbox"/> 手が引けない [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ 公設民営として町が手を引くことはできる。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 適切である [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ 現在、ふれあい交流館の一部のみを高齢者の施設として利用しているが、全館を高齢者の施設とすることで成果は向上するものと思われる。それにより、運営管理も一体的の高齢者に任せ公的関与の縮小も可能。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] <input type="checkbox"/> 余地がない [理由]	[原因] ↘	3 改革・改善方向の部へ 高齢者の高齢者による高齢者のための施設にすることで、高齢者の自主性など成果が向上する可能性がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 ↘	[問題解決策] ↘	3 改革・改善方向の部へ 高齢者の活動する場所が少なくなる。施設が不要となる。問題解決としては公設民営として、有効活用を図る。
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↘ [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ 高齢者優先を考えない場合(公民館同様)は公民館等の運営と同じである。 高齢者優先の施設は他にないため。
有効性 評価	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↘ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↘	[貢献していない] ↘	【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 ↘	[問題解決策] ↘	3 改革・改善方向の部へ 事業費のほとんどが水光熱費の施設維持費のため削減は難しい。問題解決はない。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ 施設運営を含め外部委託する方法がある。
公平性評価 受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ 負担額は条例で定められているため。	

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																	
全館高齢者のための自立支援施設とする。ただし、幾らかの使用料をいただくことを前提とする。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上			×														
	維持低下		×	×														

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

現行条例を改正し、高齢者のための施設として町が位置付ける。福祉グループ、在宅支援係などが連携を持って支援する。